

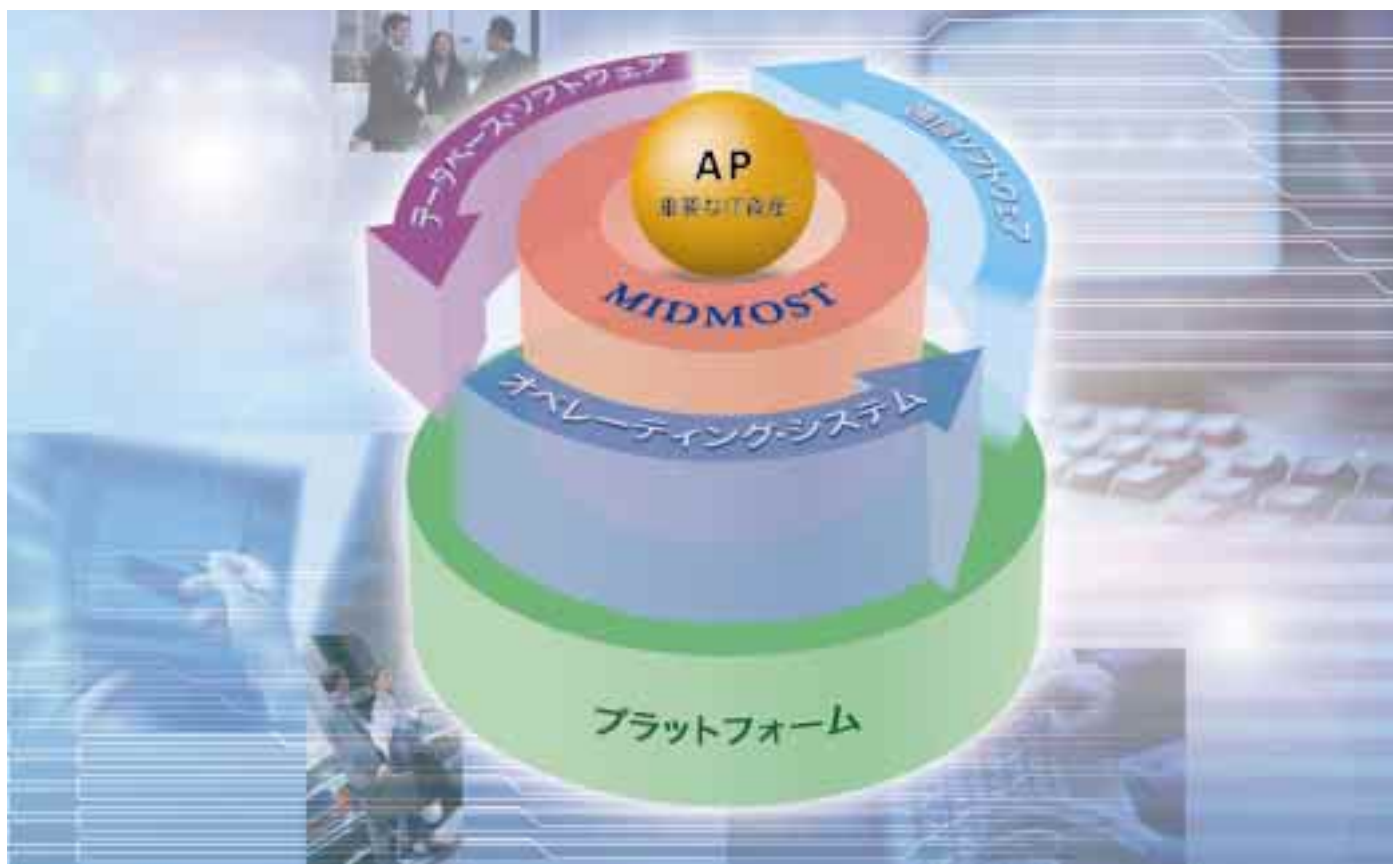
オープンミドルウェア MIDMOST[®]

ミッションクリティカル業務を支える
オープンシステム基盤

UNISYS

MIDMOST

オープン・ミッションクリティカル・システムは MIDMOST®を求めています。



企業経営を取り巻く環境が激変する中、顧客ニーズを迅速に反映し、短期間、低コストでかつ信頼性と可用性を備えたシステムの構築を強く求められています。

一方、IT技術の変化は急激であり、革新的な技術を取り入れた新しいオープンプロダクトが次々と市場に投入され普及しています。

企業戦略・IT戦略としてのミッションクリティカル・システムをオープン環境下で構築するには、さまざまなベンダから提供される最新のオペレーティング・システム、データベース・ソフトウェア、通信ソフトウェアなど基本ソフトウェアの最良・最適な組み合わせを選択し適用することが重要な成功要因となります。

しかし、現実には各ソフトウェアの特性や処理効率の相違により、システムの整合性と安定性の確保に膨大な労力と時間を費やしています。

また、多くのソフトウェアを組み合わせることの弊害として、障害発生時の原因箇所の特定と対応にも長時間を要しているのが実態です。

さらに、各ソフトウェアのバージョンアップの周期・互換性の保障についてはそれぞれのベンダによって異なるため、アプリケーション資産を長期継承するための保守工程においても多くの資源投入を強いられています。

日本ユニシスはこれらの問題を解決するため、開発保守生産性の飛躍的な向上と、システムの安定稼働、効率的な運用を実現するためのオープンミドルウェア「MIDMOST」を提供します。

MIDMOST®は最新のIT活用により TCO削減を実現します。

MIDMOST®の六つの狙い

安定したシステム基盤 の早期確立

ミッションクリティカル・システムで不可欠なトランザクション制御、障害時のリカバリ、負荷分散制御、他ノードとの通信など各種機能を「オールイン・ワン」で提供し、オープンプロダクトの組み合わせの整合性や安定性確保に要する労力と時間を極小化します。

アプリケーション開発 に専念できる環境の提供

ミッションクリティカル・システムで必要となる機能を統一的なインタフェースで提供することにより、使用者は各基本ソフトウェアの詳細を熟知する必要なくアプリケーション開発に専念することができます。

アプリケーション開発 の生産性の向上

アプリケーションの構造(アプリケーション・フレームワーク)が統一できるため、アプリケーション開発の標準化が図られ、かつ、エラー情報・トレース情報出力機能などの提供により、特にテスト工程においてアプリケーション開発の生産性と品質の向上に寄与します。

システム保守負荷 の軽減

基本ソフトウェア群とアプリケーション間の緩衝帯として、基本ソフトウェアのバージョンアップや新しい基本ソフトウェア採用時の影響を吸収、アプリケーションに与える影響を極小化させます。これにより、アプリケーション資産の保守コストの低減と長期継承を実現します。

システム運用負荷 の軽減

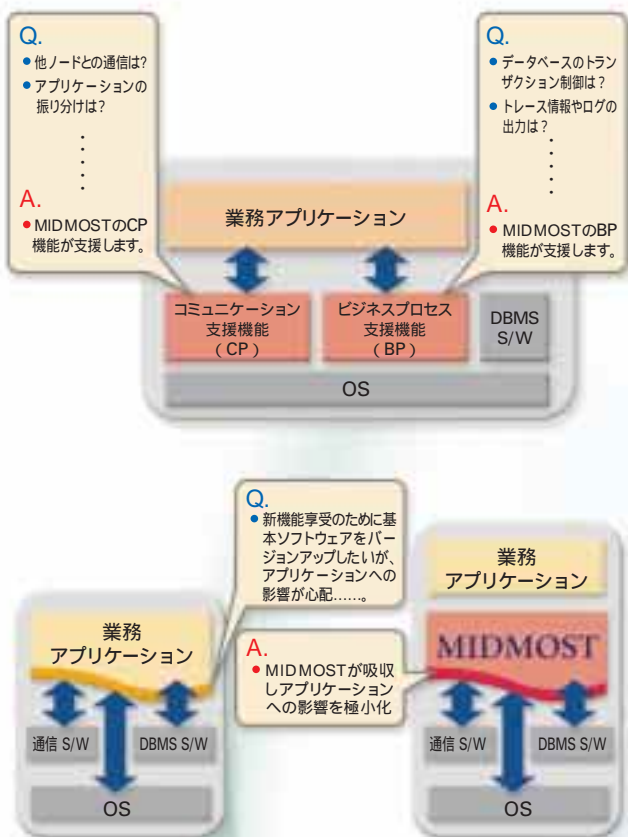
運用管理ソフトウェアのデファクトスタンダードであるJP1をベースに、運用環境構築のためのガイドと更に利便性を高める部品群を提供し、運用環境構築の期間短縮と負荷軽減を実現します。ガイドと部品群はMIDMOST使用を前提としない汎用的なものであり、JP1をベースとする運用環境構築の際には広く適用可能です。

マルチプラットフォーム 対応

マルチプラットフォームでの稼働を前提とする構造を取り入れており、Windows®2000版をベースに.NET対応はもとより、UNIX対応・Linux対応も予定しており、お客様のニーズに応じたプラットフォームの選択が可能です。また、将来、プラットフォームを変更する場合でもアプリケーションを大きく改変することなく移植することが可能です。

技術の集大成としてのオープンミドルウェアMIDMOST®

特長1 安定したシステム基盤の提供とAP開発・保守の生産性向上



これまでミッションクリティカル・システムの構築においてオープンプラットフォーム上での開発に踏み切れなかった理由は、安定性と保守性にあり、これを克服しスピードの特性を生かしたミドルウェアを提供します。

安定性...トランザクション制御機能、障害時のリカバリ、他ノード接続など汎用機と同様の機能を提供します。
保守性...OSやDBMS等の基本ソフトウェアとアプリケーションの間に位置し、バージョンアップの影響を吸収します。
スピード...アプリケーション開発に専念できる環境を実現します。

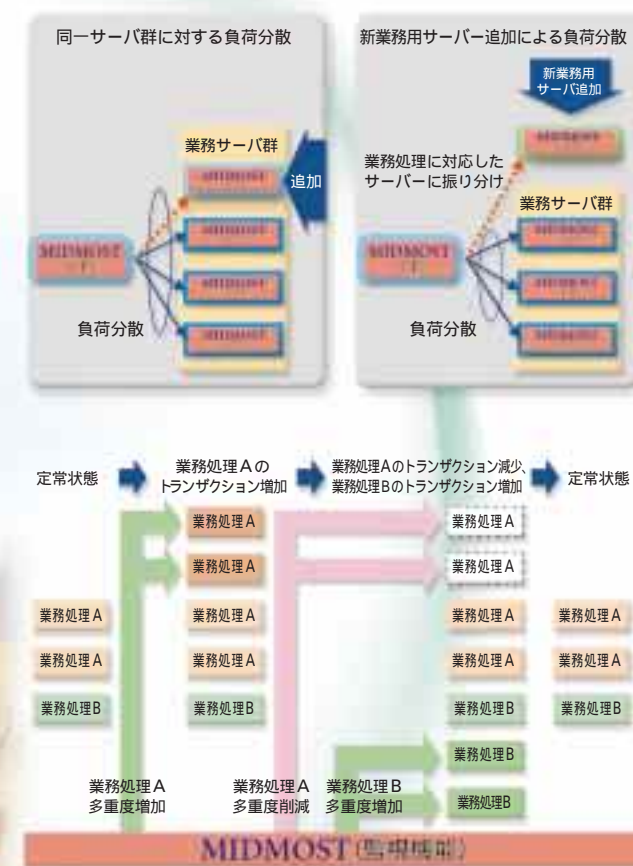


業務処理量の急激な増加に対して、分散された複数のノードへ負荷分散することで、常に高スループットを確保しつづけることが可能です。

また、業務処理の特性に応じた多重度の設定により、多重度の制御を自動的にを行うため、その業務に必要なリソースをフレキシブルに活用できます。

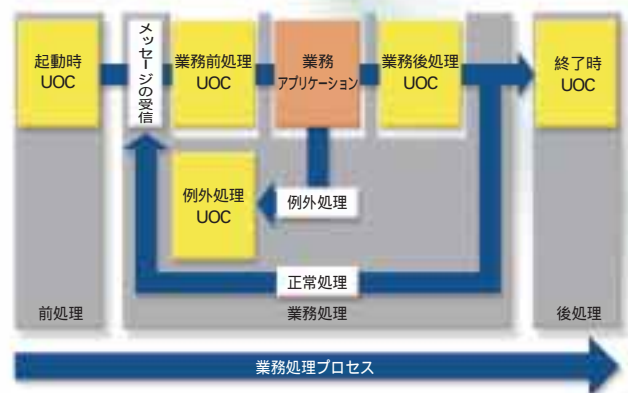


特長4 高負荷制御



特長2 独自環境構築支援

お客様固有の処理を組み込むことのできるポイントを随所に設けてあります。これにより、お客様の業務処理プロセスに合わせた実行環境を短期間で安全に構築することが可能です。



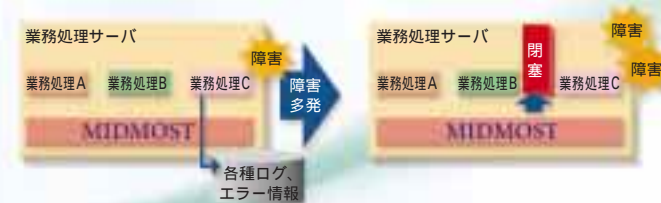
特長3 24時間稼働支援

グローバルビジネスやインターネット社会は、眠らないビジネス競争時代・24時間365日のビジネスチャンスをもたらす反面、それを実現するシステム基盤を求めています。静的データベース作成支援機能、プログラムの動的入れ替え支援機能等により、止まらないシステムを提供します。



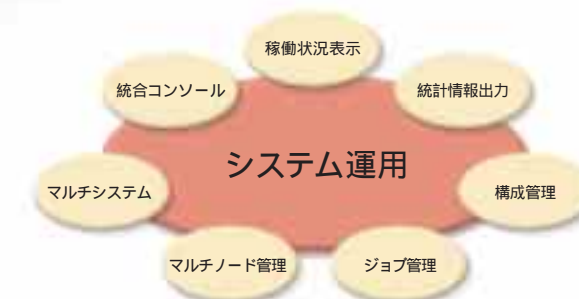
特長5 高信頼性の実現

システムの安定稼働に必要な不可欠な実行・運用基盤を提供します。障害を局部的に収め、システム全体に障害を波及させない構造と、障害発生時の事後解析のために必要な情報を出力する機能等、迅速な障害対応を可能にします。



特長6 運用環境構築支援

オープンシステムの場合、一時費用は低コストで構築できて運用に大きな負担がかかる事も少なくありません。運用環境を構築するための汎用的な部品群とガイドを提供することでTCOの削減に寄与します。



MIDMOSTの機能

CS

コミュニケーション・サービス

クライアントに搭載するサーバ・アプリケーションとの簡易な接続インタフェース(API)クライアント、サーバ間の通信が容易に構築可能であり、主に小規模なシステムに適しています。

BPE

ビジネス・プロセス・エクステンド

特定の業務向けアプリケーション開発を支援する拡張機能。一括トランザクション処理、経路管理、通番管理等の機能を提供します。

CPC

コミュニケーション・プロセス・クライアント

クライアントに搭載するサーバ・アプリケーションとの常時接続型の通信機能。各サーバ・アプリケーションへのメッセージのルーティング機能、ロードバランス機能等、豊富な機能を有し、大規模システムの通信制御も容易に構築可能です。

OEP

オペレーション・エンパイロメント・パーツ

運用環境構築を支援する部品群。運用管理ソフトウェアのデファクトスタンダードであるJP1の機能を拡張する部品群と運用環境構築のためのガイドを提供することにより、運用環境構築をトータルに支援します。

CPS

コミュニケーション・プロセス・サーバ

APサーバ側に搭載する通信制御機能。クライアント接続およびAPサーバ間通信を行います。CPCと同様、各サーバ・アプリケーションへのメッセージのルーティング機能、ロードバランス機能等、豊富な機能を有しています。

MSG

メッセージ

メッセージの変換を行うための追加オプション。外部との通信において、メッセージ・フォーマットやコードの変換機能を提供することにより、センタ間通信等のアプリケーション構築の負荷を削減します。

BPB

ビジネス・プロセス・ベーシック

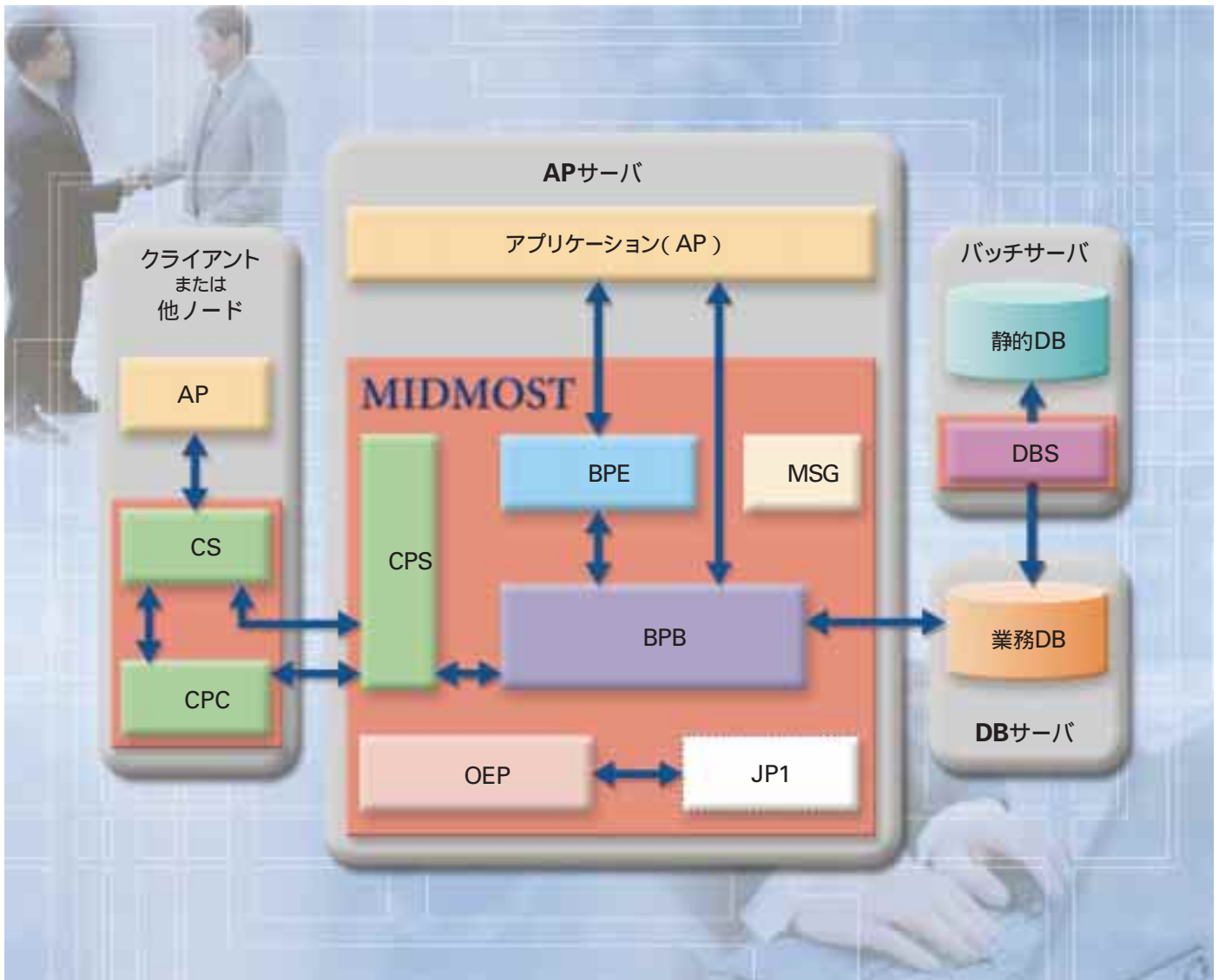
アプリケーション構築を支援する基本機能。トランザクション制御・メッセージ送受信制御等の基本的な機能に加え、各種ログ出力、エラー情報出力等、アプリケーション開発の生産性向上や障害時の原因解析に寄与する各種機能を提供します。

DBS

データベース・サポート

24時間連続稼働システムにおいて、静的データベースを作成するための追加オプション。24時間連続稼働するオンライン処理と平行して、日替わり時点、月末時点のデータベースを使用したバッチ処理の実行が容易に可能となります。

MIDMOSTのソフトウェア構成



稼働環境

	稼働環境
対応機種 ^{*1}	ES7000シリーズ rE5000シリーズ
対応OS ^{*2}	Windows 2000 Datacenter Server Windows 2000 Advanced Server
対応DBMS	SQL Server 2000 Enterprise Edition Oracle
APの開発言語	Microsoft Visual C++ 日立COBOL85
その他	ACAB JP1(MIDMOST/OEP 使用時は必須となります)

*1：対応機種については順次拡大予定です。

*2：以下のOSにつきましては、順次ご提供を計画中です。

• Windows Server 2003, Enterprise Edition • Windows Server 2003, Datacenter Edition • Solaris • Linux(Red Hat)

稼働環境については、改良のため予告なしに変更することがあります。

MIDMOSTは日本ユニシス株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windowsは米国およびその他の国における米国Microsoft Corp.の登録商標または商標です。
その他記載の会社名、製品名およびシステム名は各社の登録商標または商標です。

日本ユニシス株式会社

お問い合わせ先

本社 東京都江東区豊洲 1-1-1 〒135-8560
電話 03-5546-4111(大代表)
<http://www.unisys.co.jp/>